

### 3月定例会の審議結果

議案番号	件名	本会議での議決結果	賛否結果						
			緑政会	共産党	一新会	民主党	公明党	新栄会	無党派
同意第1号	公平委員会委員の選任	同意							x
認定第1号	平成21年度城南市町村税滞納整理組合歳入歳出決算認定	認定							
議案第1号	情報公開条例の一部改正	可決							
議案第2号	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正	可決	x						x
議案第3号	子育て支援医療費の助成に関する条例の一部改正	可決							
議案第4号	国民健康保険税条例の一部改正	可決							
議案第5号	都市公園条例の一部改正	可決							
議案第6号	農業共済推進事業基金条例の廃止	可決							
議案第7号	財産取得の変更	可決							
議案第8号	京都南部都市広域行政圏推進協議会の廃止	可決							
議案第9号	京都市市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び京都市市町村職員退職手当組合規約の変更	可決							
議案第10号	道路線の認定	可決							
議案第11号	平成21年度一般会計補正予算(第5号)	可決							
議案第12号	平成21年度休日応急診療所特別会計補正予算(第3号)	可決							
議案第13号	平成21年度老人保健特別会計補正予算(第2号)	可決							
議案第14号	平成21年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決							
議案第15号	平成21年度介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決							
議案第16号	平成21年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	可決	x						
議案第17号	平成21年度公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決							
議案第18号	平成21年度水道事業会計補正予算(第1号)	可決							
議案第19号	平成22年度一般会計予算	可決	x						x
議案第20号	平成22年度休日応急診療所特別会計予算	可決							
議案第21号	平成22年度松井財産区特別会計予算	可決							
議案第22号	平成22年度老人保健特別会計予算	可決	x						
議案第23号	平成22年度国民健康保険特別会計予算	可決	x						
議案第24号	平成22年度介護保険特別会計予算	可決	x						
議案第25号	平成22年度後期高齢者医療特別会計予算	可決	x						
議案第26号	平成22年度公共下水道事業特別会計予算	可決							
議案第27号	平成22年度農業集落排水事業特別会計予算	可決							
議案第28号	平成22年度水道事業会計予算	可決							
議案第29号	表彰条例の一部改正	可決							
議案第30号	議会政務調査費の交付に関する条例の一部改正	可決							
請願第5号	教育格差をなくし、子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願	不採択	x	x	x	x	x	x	x
発議第5号	都市計画税条例の一部改正	否決	x	x	x	x	x	x	x
意見書第1号	茶業振興に関する意見書	可決							
意見書第2号	地方議会議員年金制度に関する意見書	可決	-						x
意見書第3号	恒久平和実現のため核兵器の廃絶に関する意見書	可決							
意見書第4号	普天間基地の撤去に関する意見書	可決		-		x			

賛成の場合、反対の場合x、会派内で賛否が分かれた場合、採決に参加しなかった場合一で表しています。無党派とは、会派に所属しない議員をいいます。



春の京田辺、満開の桜を満喫する参加者(花見ウォーク)(写真上)

「笑顔でパチリ!」河原保育所入所式(写真右)



**傍聴席から**  
傍聴者からのご意見を紹介します。

・車イス専用席は、足元に車イスが入らないことや、筆記をするための机がないことが大変不便であった。

(70歳代 男性)  
・内容のしつかりした意見・議論であった。市民が誇りが持てる議会運営である。

(70歳代 男性)  
・地元の意見をしっかりと伝えていただけるようお願いしたい。

(40歳代 女性)

### 新会派構成一覧

無所属ネット 次田 典子、山下 勝一	公明党 櫻井 立志、河田 美穂	民主党議員団 米澤 修司、河本 隆志	民主党議員団 奥村 良太、井上 公	政友クラブ 喜多 進、小林喜代司	新栄会 喜多 英男、上田 登	一新会 松村 博司、市田 康夫、奥西伊佐男、鈴木 康夫	日本共産党京田辺市議会議員団 井上 薫、塩貝 建夫、増富理津子、水野 恭子	幹事 4月1日に会派の異動がありました。新しい会派の構成は次のとおりです。
-----------------------	--------------------	-----------------------	----------------------	---------------------	-------------------	--------------------------------	--	--

### 議会改革・活性化特別委員会中間報告

議会改革・活性化特別委員会は、平成22年3月24日全議員に中間報告を行いました。主な内容は次のとおりです。

- ① 政務調査費(議員の調査研究経費)について
  - ・支給金額について会派所属議員と無党派議員で差をつけない。
  - ・金額については会派所属議員の現行金額である年額18万円とする。
- ② 行政委員の議会出席について
  - ・基本的に出席していただく。
- ③ 4者懇談会の位置づけについて
  - ・「正副議長・正副議会運営委員長調整会議」と名称を変更し、必要に応じて開催する。

### 市議会の本会議・委員会を傍聴しませんか

次の定例会の日程等は、6月上旬にお知らせする予定です。傍聴を希望される方は、市内広報掲示板、ホームページをご覧ください。また、過去の会議録は、ホームページ、市図書館等でご覧いただくことができます。

市議会だよりの内容を「声の広報」としてカセットテープに録音し、お届けしています。ご希望の方は、お問い合わせ下さい。

(ホームページアドレス) <http://www.kyotanabe.jp/gikai/>  
(問い合わせ先) 議会事務局 (TEL) 64-1380

### あとがき

政治のことを「まつりごと」といいます。テレビの時代劇の中でよく「天下のまつりごと」という言葉を耳にします。祭り事、つまり、まつり事とは昔は神様にお伺いを立てて諸々の事を行いました。それが政治であり神聖なものでありました。現在では、その政治に携わる私たちのことを議員といいますが、議員の議という字を分けずと義を言うようになります。このことを心に私たちが議会議員は市民の皆さんのために努力したいと思えます。平成22年度の施政方針に基づき特別委員会

委員 増富理津子  
委員 鈴木康夫  
委員 小川喜代司  
委員 河本隆志  
副委員長 櫻井立志  
委員長 南部登志子  
広報編集特別委員会

委員会を設置して審査を行いました。また、多くの議員から一般質問がありました。市長の施政方針の中にも、また私たち議員の質問の中にも、厳しい本市の財政状況の中ではありますが、市民の皆さんのために少しでも市を良くして行きたい、少しでも前へ進めたいという思いを見てください。(小林)